

認 定 書

国 住 指 第 1 4 4 7 号
平成 26 年 8 月 20 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0804
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (準不燃材料)

2. 形状及び寸法等

項 目	申 請 材 料
形 状	平板
表 面 形 状	(1) ～ (3) のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の厚さ (mm)	3.5 ± 0.35 以下
表面化粧材の質量 (g/m^2)	555.0 ± 55.5 以下

3. 材料構成

項 目	申 請 材 料														
表面化粧材	<p>合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ 3.5 ± 0.35 mm 以下</p> <p>質量 $555.0 \pm 55.5 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下 (有機質量 $251.0 \pm 25.1 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1] 化粧：合成樹脂フィルム</p> <p>…厚さ 0.05 ± 0.005 mm 以下</p> <p>質量 $50.0 \pm 5.0 \text{ g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $30.0 \pm 3.0 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]-1 合成樹脂フィルム：(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 合成樹脂フィルム^{※1}…厚さ 0.05 ± 0.005 mm 以下</p> <p>質量 $29.0 \pm 3.0 \text{ g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $29.0 \pm 3.0 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>(2) フッ素系樹脂フィルム…厚さ 0.05 ± 0.005 mm 以下</p> <p>質量 $30.0 \pm 3.0 \text{ g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $30.0 \pm 3.0 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>[1]-2 合成樹脂：(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 合成樹脂：質量 $20.0 \pm 2.0 \text{ g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0 \pm 1.0 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>構成 (g/m^2)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂^{※2}</td> <td>……………10.0 ± 1.0 以下</td> </tr> <tr> <td>(但し、ポリエステル系は2.0～9.0とする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td> <td>……………0～19.0 ± 1.9</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td> <td>……………0～19.0 ± 1.9</td> </tr> </table> <p>(2) なし</p> <p>[1]-3 印刷インキ：(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 印刷インキ：質量 $20.0 \pm 2.0 \text{ g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0 \pm 1.0 \text{ g}/\text{m}^2$ 以下)</p> <p>構成 (g/m^2)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂インキ^{※4}</td> <td>……………10.0 ± 1.0 以下</td> </tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td> <td>……………0～19.0 ± 1.9</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td> <td>……………0～19.0 ± 1.9</td> </tr> </table> <p>(2) なし</p>	合成樹脂 ^{※2}	…………… 10.0 ± 1.0 以下	(但し、ポリエステル系は2.0～9.0とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ 19.0 ± 1.9	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ 19.0 ± 1.9	合成樹脂インキ ^{※4}	…………… 10.0 ± 1.0 以下	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ 19.0 ± 1.9	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ 19.0 ± 1.9
合成樹脂 ^{※2}	…………… 10.0 ± 1.0 以下														
(但し、ポリエステル系は2.0～9.0とする)															
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ 19.0 ± 1.9														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ 19.0 ± 1.9														
合成樹脂インキ ^{※4}	…………… 10.0 ± 1.0 以下														
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ 19.0 ± 1.9														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ 19.0 ± 1.9														

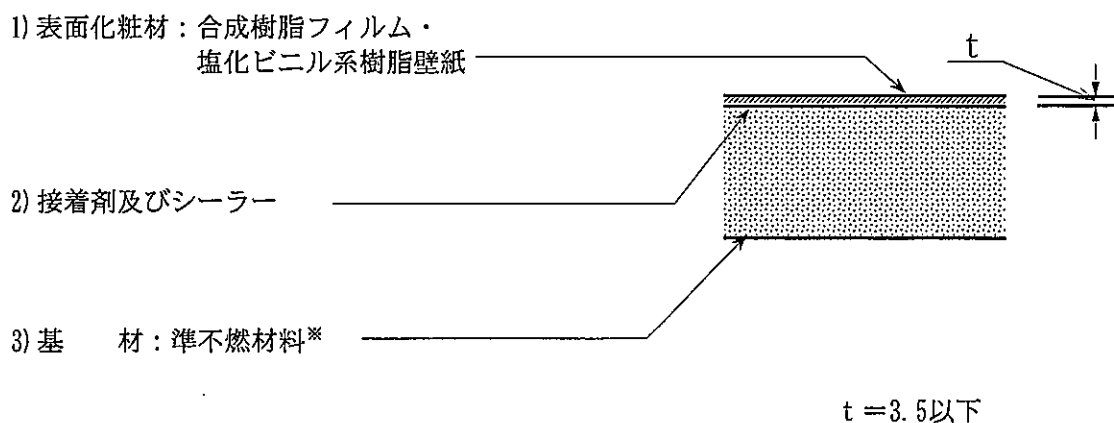
項 目	申 請 材 料																																																
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量355.0 ± 35.5g/m²以下^{※5} (有機質量156.0 ± 15.6g/m²以下^{※6})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※5}</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>……………92.3 ± 9.2以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤^{※7}・減粘剤 (カルボン酸エステル系)</td><td>……………59.1 ± 5.9以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、$0 \sim 11.0 \pm 1.1$の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td><td>……………18.5 ± 1.9以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)</td><td>……………$0 \sim 5.2 \pm 0.5$</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)</td><td>……………4.6 ± 0.5以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料^{※9}</td><td>……………$0 \sim 3.0 \pm 0.3$</td></tr> <tr> <td>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>……………$0 \sim 2.2 \pm 0.2$</td></tr> </table> <p>(2) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量345.0 ± 34.5g/m²以下^{※5} (有機質量146.0 ± 14.6g/m²以下^{※6})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※5}</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>……………86.4 ± 8.6以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤^{※7}・減粘剤 (カルボン酸エステル系)</td><td>……………55.3 ± 5.5以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、$0 \sim 10.4 \pm 1.1$の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td><td>……………17.3 ± 1.7以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)</td><td>……………$0 \sim 4.8 \pm 0.5$</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)</td><td>……………4.3 ± 0.4以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料^{※9}</td><td>……………$0 \sim 2.8 \pm 0.3$</td></tr> <tr> <td>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>……………$0 \sim 2.1 \pm 0.2$</td></tr> </table> <p>(3) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量335.0 ± 33.5g/m²以下^{※5} (有機質量136.0 ± 13.6g/m²以下^{※6})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※5}</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>……………80.5 ± 8.1以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤^{※7}・減粘剤 (カルボン酸エステル系)</td><td>……………51.5 ± 5.2以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、$0 \sim 9.7 \pm 1.0$の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td><td>……………16.1 ± 1.6以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)</td><td>……………$0 \sim 4.5 \pm 0.5$</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)</td><td>……………4.0 ± 0.4以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料^{※9}</td><td>……………$0 \sim 2.6 \pm 0.3$</td></tr> <tr> <td>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>……………$0 \sim 1.9 \pm 0.2$</td></tr> </table>	塩化ビニル樹脂	…………… 92.3 ± 9.2 以下	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	…………… 59.1 ± 5.9 以下	(但し、減粘剤は、 $0 \sim 11.0 \pm 1.1$ の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	…………… 18.5 ± 1.9 以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	…………… $0 \sim 5.2 \pm 0.5$	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	…………… 4.6 ± 0.5 以下	有機質系顔料 ^{※9}	…………… $0 \sim 3.0 \pm 0.3$	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	…………… $0 \sim 2.2 \pm 0.2$	塩化ビニル樹脂	…………… 86.4 ± 8.6 以下	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	…………… 55.3 ± 5.5 以下	(但し、減粘剤は、 $0 \sim 10.4 \pm 1.1$ の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	…………… 17.3 ± 1.7 以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	…………… $0 \sim 4.8 \pm 0.5$	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	…………… 4.3 ± 0.4 以下	有機質系顔料 ^{※9}	…………… $0 \sim 2.8 \pm 0.3$	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	…………… $0 \sim 2.1 \pm 0.2$	塩化ビニル樹脂	…………… 80.5 ± 8.1 以下	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	…………… 51.5 ± 5.2 以下	(但し、減粘剤は、 $0 \sim 9.7 \pm 1.0$ の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	…………… 16.1 ± 1.6 以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	…………… $0 \sim 4.5 \pm 0.5$	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	…………… 4.0 ± 0.4 以下	有機質系顔料 ^{※9}	…………… $0 \sim 2.6 \pm 0.3$	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	…………… $0 \sim 1.9 \pm 0.2$
塩化ビニル樹脂	…………… 92.3 ± 9.2 以下																																																
可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	…………… 59.1 ± 5.9 以下																																																
(但し、減粘剤は、 $0 \sim 11.0 \pm 1.1$ の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	…………… 18.5 ± 1.9 以上																																																
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	…………… $0 \sim 5.2 \pm 0.5$																																																
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	…………… 4.6 ± 0.5 以下																																																
有機質系顔料 ^{※9}	…………… $0 \sim 3.0 \pm 0.3$																																																
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	…………… $0 \sim 2.2 \pm 0.2$																																																
塩化ビニル樹脂	…………… 86.4 ± 8.6 以下																																																
可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	…………… 55.3 ± 5.5 以下																																																
(但し、減粘剤は、 $0 \sim 10.4 \pm 1.1$ の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	…………… 17.3 ± 1.7 以上																																																
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	…………… $0 \sim 4.8 \pm 0.5$																																																
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	…………… 4.3 ± 0.4 以下																																																
有機質系顔料 ^{※9}	…………… $0 \sim 2.8 \pm 0.3$																																																
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	…………… $0 \sim 2.1 \pm 0.2$																																																
塩化ビニル樹脂	…………… 80.5 ± 8.1 以下																																																
可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	…………… 51.5 ± 5.2 以下																																																
(但し、減粘剤は、 $0 \sim 9.7 \pm 1.0$ の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	…………… 16.1 ± 1.6 以上																																																
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	…………… $0 \sim 4.5 \pm 0.5$																																																
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	…………… 4.0 ± 0.4 以下																																																
有機質系顔料 ^{※9}	…………… $0 \sim 2.6 \pm 0.3$																																																
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	…………… $0 \sim 1.9 \pm 0.2$																																																

項 目	申 請 材 料
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※10} : (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙 : …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下、質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下) 構成(g/m²) : 1) または1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$65.0_{\pm 6.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$8.8_{\pm 0.88}$以下 有機繊維^{※11} …$46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙 : ([2] 主素材が(2) の場合に限る) …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下、質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下) 構成(g/m²) : 1) または1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$75.0_{\pm 7.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$10.1_{\pm 1.01}$以下 有機繊維^{※11} …$53.0_{\pm 5.3}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p>

項 目	申 請 材 料
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) の場合に限る) …厚さ $0.5_{\pm 0.05}$mm 以下、質量 $150.0_{\pm 15.0}$g/m² 以下 (有機質量 $85.0_{\pm 8.5}$g/m² 以下) 構成 (g/m²) : 1) または 1) と 2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$85.0_{\pm 8.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12} $20.4_{\pm 2.04}$以下とし、かつ有機質量を $68.0_{\pm 6.8}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$11.6_{\pm 1.16}$以下 有機繊維^{※11} …$61.0_{\pm 6.1}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を $62.0_{\pm 6.2}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は $1.0_{\pm 0.1}$ ~ $22.2_{\pm 2.22}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>※1: 合成樹脂フィルムは、エチレン・ビニルアルコール共重合体系樹脂フィルム、ポリプロピレン系樹脂フィルムのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2: 合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3: 無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4: 合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチングリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5: 質量及び構成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※6: 有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※7: 可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8: 無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9: 有機質系顔料は、アゾ系顔料、フクロアニン系顔料、縮合多環系顔料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10: 裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※11: 有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニレタン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	申 請 材 料
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量60g/m^2 (固形量) 以下 (有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成: 以下の [1] または [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { でん粉のり……………$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※13}……………$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※14} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成: 以下の [1] または [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { メチルセルロース……………$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※13}……………$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※14} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>※13: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※14: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、またはシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図 (寸法単位: mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの